

大人の地域再発見誌

vol.19

こうのす

川幅日本一

2537m

荒川

鴻巣市 ←→ 吉見町

Contents

- 2 特集「神々の住む「馬室の郷」を訪ねる」
- 8 私の好きなこうのすの風景
- 9 こうのす人 小林 玲子さん
- 10 こうのす歴史散歩 「馬室」
- 10 編集部より

題字執筆 第48代 勝願寺住職
藤田得三氏

表紙写真 御成橋
本誌3頁参照

神々の住む「馬室の郷」を訪ねる

●はじめに

馬室郷は、旧足立郡石戸領に属し、滝馬室村と原馬室村の2村と、原馬室村枝郷小松原からなる。馬室地区に初めて人の痕跡が現れるのは、赤台遺跡（大字原馬室）で確認された旧石器時代の遺物である。また、古墳時代の埴輪窯、古代～近世の創建とされる様々な寺社仏閣、石像仏など、歴史の息吹を感じる史跡や建造物がある。

今回は、観光ボランティア鴻巣ガイド会とのコラボ企画で、2020年10月に実施された馬室地区の歴史散歩をベースとして、馬室地区の見所を紹介する。

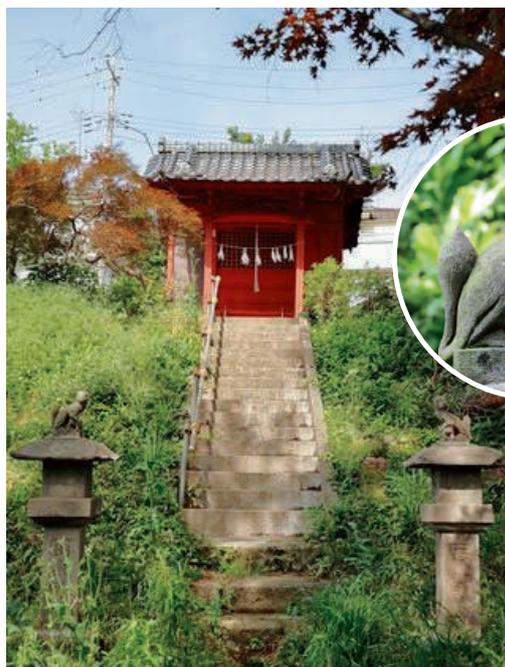




1 聖徳太子塔

馬室バス停から鴻巣駅方面に 50m 程の路傍にある。文政 12 年（1829）に建立された山状角柱型の聖徳太子塔で道標を兼ねている。

正面中央に「聖徳太子」、右に「右松山いなり 吉見かんをん道」、左に「南川越道」と記されている。



2 勸兵衛稲荷神社

御成橋の北側、台地の縁辺部で荒川に向かって社殿が建つ稲荷神社である。記念碑によれば、慶長 11 年（1606）に加藤甚左衛門が祠を建てたのが始まりで、宝暦 3 年（1753）に京都官幣大社より正一位勸兵衛稲荷大明神を授かったとされる。神使（狐の石像）を乗せた石灯笼が珍しい。



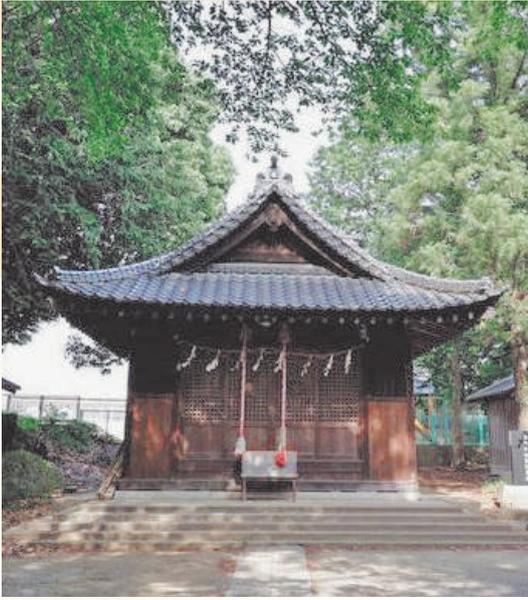
3 川幅日本一 (表紙写真)

鴻巣市が誇る日本一の一つ。その川幅は 2537m を計る。鴻巣市の荒川流路は、元は入間川水系の和田吉野川であった。江戸時代初頭、江戸を水害から守るための大規模な工事「利根川の東遷、荒川の西遷」により、荒川は熊谷市久下から鴻巣市大芦まで新たな水路が掘削され、和田吉野川に繋がられた。御成橋付近は、元々は今よりも西側に流路があったが、明治 43 年の水害を契機として、現在の位置に新たな水路が掘削され、また合わせて横堤の整備と遊水機能を持った広大な河川敷が整備され、日本一の川幅が誕生した。詳細は、本誌 8 号の特集でも紹介しているので参考にして頂きたい。



4 巡拝塔

御成橋のやや下流側の河川敷に立つ。文化 14 年（1817）に建立された巡拝塔で、道標を兼ねる。中央に「奉納西国諸願成就」、その右に「右のミち 秩父」、左に「板東 左かうのす道」と記されている。



5 滝馬室氷川神社

神社の創建年代は不明であるが、「延暦年間（782-805）に坂上田村麻呂が農作物を荒らす悪竜（大蛇）の目を射貫いて退治し、頭を氷川神社境内、胴体を常勝寺、尾は吉見町の岩殿観音に埋めた」との伝承がある。竜退治の伝説に因んだ神事「滝馬室的祭」が1月に行われる。

階段途中にある犬を模したような参道狛犬は、天保11年（1840）の製作であり、石製狛犬類としては市内で唯一江戸時代まで遡る。



6 日本一のポピー畑

御成橋下流の河川敷を利用したポピー畑。毎年5月に「こうのす花まつり」が開催される。東京ドーム約2.5個分、約125,000平方メートルに3,000万本のポピーが咲き誇る光景は圧巻である。



7 常勝寺

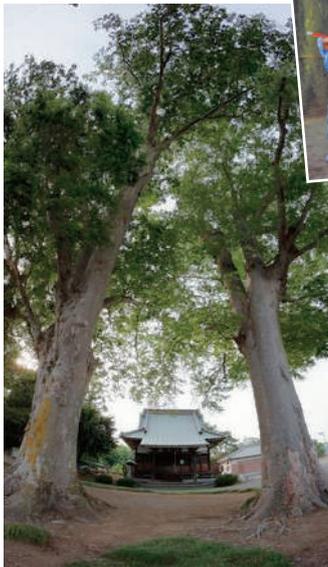
真言宗智山派の寺院で、7世紀の創建とも伝わるが、現在の常勝寺の前身となる寺が創建されたのは室町時代中頃と考えられている。徳川家康の関東入国に際して天正19年（1591）に寺領15石の御朱印状を拝領し、近郊に数多くの末寺を擁していた。本尊は大日如来座像で江戸時代初期の製作とされる。参道に立つと仁王門が印象的である。また、寺の北側には、2基の円墳（北塚古墳と毘沙門山古墳）がある。

8 谷津不動尊

馬室小学校の南側にある。境内の碑によれば、享保15年（1730）、村内安康万民豊楽を祈り中島一族の守り本尊として此の地に祀られたとされる。平成6



年2月の火災により全焼してしまったが、檀信徒各位の努力により再建された。本尊は寛文8年（1668）に製作された不動明王立像であったが、火災により著しい損傷を受けた。現在の本尊は火災後に新たに製作されたものである。



9 観音堂

観音堂は、3本の大きなケヤキが印象的である。観音堂は、原馬室に今も大切に保存・伝承されている獅子舞と棒術の発祥地として知られている。本尊は、江戸時代の製作とされる木造馬頭観音菩薩座像である。



10 妙楽寺

鎌倉建長寺明月院の末寺として、応永年間(1394-1427)に創建されたと伝わる。天正年間に常勝寺の末寺となった。本尊は地蔵菩薩座像で室町時代前半の製作とされる。



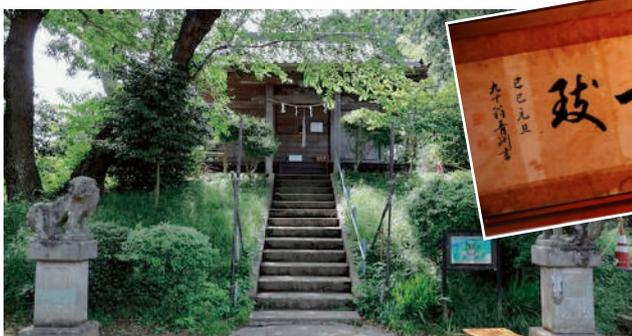
11 雷電社

雷電神社(雷電社)は、群馬県板倉町にある「雷電神社」を事実上の総本社格とする神社で、関東地方を中心に分布する。原馬室の雷電社は、明治時代に近くの愛宕神社に合祀すべしとされたが、保存運動などを経て合祀を免れて今に至る。



12 馬室埴輪窯跡

荒川を望む台地の西端部斜面に築かれた登り窯跡である。これまでの調査から、最大10～13基の窯で構成されていると考えられている。出土した埴輪は6世紀後半を中心とするが、5世紀の特徴を持つ埴輪も僅かに出土しており、操業は5世紀後半まで遡る可能性がある。これは、市内の生出塚埴輪窯跡よりも操業が早くなり、埼玉県内でも最も古い事例とされる。キャンプ場の脇に埋設保存され、その位置と形が分かるように色を付けられた窯と説明板が整備されている。



13 愛宕神社

長治2年(1105)の創建と伝わる。社殿が乗る高まりは円墳とされる。本尊は江戸時代に製作された將軍地蔵騎馬像であったが、現在は妙楽寺に保存されている。また、敷地内の集会所(現在は保育園として利用)にはかつて渋沢栄一の書が掛けられていたが、現在は近くの個人宅で保管されている。書は「共同一致 己巳元旦 九十翁 青淵書」とあり、亡くなる2年前の昭和4年(1929)に書かれたものである。



14 小松大日堂

現在の建物は昭和 48～49 年に建てられたが、境内には江戸時代の年号が刻まれた石仏・石塔がいくつか残る。また、本尊として、江戸時代に製作された大日如来座像が伝わる。新編武蔵風土記稿や妙楽寺に残る薬師堂落慶碑の記述との比較から、かつて馬室地区にあったが、明治 3 年（1870）の寺社分離統合の大法により廃絶された受法院の跡地と考えられている。



15 小松原神社

原馬室村の枝郷であった「字小松・字松原」及び近接する複数の「字」にまたがる地域には上・中・下の 3 組があり、上組には愛宕神社、中組と下組にはそれぞれ稲荷神社を祀ってきた。明治 2 年の地租改正の際に、政府の達しに従って、中組の稲荷神社に上組の愛宕神社と下組の稲荷神社を合祀して、社名を小松原神社に改称した。

現在の社殿は、令和 2 年末に改築されたものである。

なごみのや
NAGOMINOYA
クリアこうのす二階
鴻巣市中央 29-1
TEL (048) 540 8080

赤身肉の多さが特徴の、
牛肉本来の旨味が存分に味わえる
北海道十勝帯広産の「豊西牛」を食べられるのは
近隣では当店だけ。
人気No.1メニュー「豊西牛ハンバーグ」¥980

営業時間 平日11時～15時30分
土日祝日11時～14時 17時～20時

※営業時間、定休日は変更になる場合がございます。詳細は店舗にお問合せ下さい

定休日 毎週火曜



学校法人 鴻巣佐藤学園

鴻巣幼稚園

園長 佐藤 芳隆

〒365-0038 鴻巣市本町 6 丁目 3 番 4 号 (東小学校前)

TEL (048) 541-0575 FAX (048) 543-6222

HP <http://www.kounosu-kg.com/>

f 鴻巣幼稚園

幼稚園専用駐車場完備

380年の伝統 人形のふるさと鴻巣で最大のお店

ひな人形

宏田屋

TEL: 048-541-8888

鴻巣市人形1-6-18 営業時間 9:00～19:00

定休日: 5月～10月は月曜日 11月～4月は無休

子授け
安産
厄除け

ここのどりのお宮

鴻神社

〒365-0076 埼玉県鴻巣市本宮町1-9

TEL: 048-542-7293 / FAX: 048-543-2282

<http://www.koujinja.or.jp>